

神奈川歯科大学附属病院 ニュースレター

2021年1月1日発行 第2号

2021年 年頭ご挨拶

病院長 井野 智



新年、明けましておめでとうございます。

今年は、大学本部のリニューアルプロジェクトがスタートし、このプロジェクトの先駆けとして、3年前に電源が落とされた稲岡町の旧病院建屋を取り壊すことになります。跡地は患者様専用駐車スペースとして拡大整備される予定です。1969年10月に竣工されましたので50有余年、名残惜しいところですが、本当にありがとうございました。

さて本院は、昨年11月に開院3周年を迎えるとともに、患者さんサービスの一環として1階フロアーにオープン式ショップ（デンタルラウンジ）を開設しました。こんな時期だからこそ、スタッフはもちろん、多くの方に「歯科大病院に行くのは楽しみ！」と言っていただけるよう、今後も知恵を絞って色々なことにチャレンジしていきたいと思います。お陰様で、昨年の秋以降、来院患者さんの数は過去最高を更新し続けており、地域医療機関の皆様のご協力を得ながら、本年も地域貢献していきたいと考えております。皆様方と情報共有しながら、是非、忌憚のないご意見、ご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



旧附属病院

ハブラシ CONSEI 認定制度がスタート

院内にハブラシ CONSEI 認定制度を設立し、現在75名が在籍しています。CONSEIとは（conseiller 仏語）コンシエルの語源と言われ直訳すると「助言する」となりますが、患者様一人ひとりにあった口腔ケア用品を「口腔ケアお勧め処方箋」として発行し、専門知識をもって歯ブラシなどをお勧めいたします。ハブラシ CONSEI には認定バッジを授与し、患者様にも分かりやすくしています。歯ブラシなどで困りのことがございましたらご相談下さい。



「デンタルラウンジ」OPEN

病院1階のオープンスペースに売店をリニューアルオープンいたしました。ハブラシ CONSEI などが患者様一人一人に合った口腔ケア用品のご相談に応じます。是非、お立ち寄りください。

糖尿病・内分泌内科 教授 青木一孝



信州大学医学部卒
横浜市立大学大学院修了

専門領域

糖尿病・内分泌疾患

糖尿病を合併した歯周病の治療には、その背後にある血糖値コントロールが重要です。

当科では、歯科と連携をとりながら糖尿病の診療を行っています。血糖値、HbA1c、脂質検査、尿酸等は採血当日に結果が出ます。血糖値が気になる方は是非当科を受診してみてください。

【外来風景】



<今年はインスリン発見 100 周年>



インスリン発見者の
ベスト(左)、パンチング(右)

club-dm.jp 糖尿病サイトより引用

消化器内科 教授 古出智子



千葉大学医学部卒

専門領域

消化器疾患

2018 年 4 月より当院に消化器内科外来が新設され、診療および内視鏡検査（胃内視鏡、大腸内視鏡）を行っております。消化器疾患では検査・治療の対象となる臓器は、食道・胃・小腸・大腸や、肝臓・胆嚢・胆管・膵臓など非常に多いことが特徴です。血液検査だけで見つからない疾患が多く、侵襲のない高性能の腹部超音波機器、フィブロスキャンという肝臓の硬さや脂肪量の測定ができる機器、最新の内視鏡機器、CT、MRI などの検査を適時行い、できる限り迅速に検査しております。消化器疾患は良性的疾患から悪性の疾患まで多様であり、高次医療機関で精査治療を要する場合は、患者さんとよく相談し、適切な医療機関へご紹介しております。内視鏡検査は私を含め女性スタッフが対応しておりますので、大腸内視鏡などへの抵抗がある方や女性も受診しやすい環境になっていると考えております。是非ご相談ください。

専門医資格：日本消化器病専門医、日本消化器内視鏡専門医、
日本消化器内視鏡指導医

腎臓内科 教授 橋本達夫



横浜市立大学医学部卒

専門領域

腎臓・高血圧

新年あけましておめでとうございます。腎臓内科が開設されてから、はや 9 か月がたち、おかげさまで通院される方が増えてきました。

さて、皆さんはご自身の塩分摂取量をご存知でしょうか？当院では塩をどのくらい摂っているかを数値に「見える化」して、栄養指導や生活指導につなげています。快食、快便、快眠、運動のそれぞれに支援できることがあります。主体的に取り組めるよう、「思い」にそった支援をしています。

特定健診で慢性腎臓病（CKD）病診連携システムの腎臓専門医療機関の指定も受けることができました。また、歯科診療で発見された高血圧患者さんにも多数ご来院いただいています。今後も地域医療に貢献する環境を整えていきます。

血圧高め、尿たんぱくあり、クレアチン高めの方がお近くにおられましたら、受診勧奨をお願いいたします。軽症の場合、3 か月に一回や半年に一回の診察ですむこともございます。お気軽にお尋ねください。

認知症・高齢者総合内科 教授 眞鍋雄太



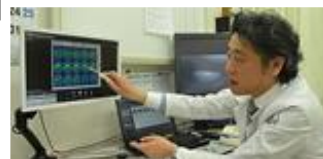
藤田医科大学大学院卒

専門領域

認知症性疾患、レビー小体病およびパーキンソン病

本当の意味での認知症専門医、日本認知症学会専門医による精度の高い診療を提供しています。特に、横浜市大名誉教授小阪憲司先生が発見され、今や第2の認知症として知られるようになったレビー小体病およびレビー小体型認知症を専門とした、日本でも数少ない専門診療科です。その他、高齢者内科の立場から、認知症の発症および進行に深く関わる生活習慣病、睡眠時無呼吸症候群やREM睡眠行動障害などの睡眠障害、慢性便秘も治療の対象として診療を行っています。

各種画像診断を組み合わせ、精緻な診断と丁寧な疾患解説を心掛けています。写真は、2019年7月17日朝日新聞「患者を生きる」ーレビー小体病で掲載された当科の診察風景。



画像診断科 教授 池上 匡



1981年 横浜市立大学
医学部卒

1987年 同 大学院修了

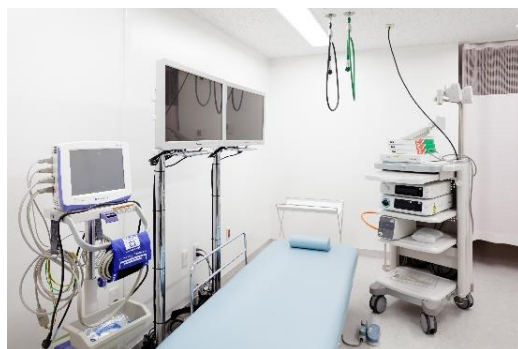
専門領域

全身の画像診断、核医学、がん治療

脳から足先まですべての科の疾患に関わる画像診断を行っています。とくにMRIによる頻尿・尿失禁・骨盤臓器脱・原因不明の下腹部痛などの女性泌尿器科疾患は年間500例以上の経験があり、原因診断に自信を持っています。そのほか整形外科疾患、認知症などの脳容積解析も多い検査です。CT検査は原則即日対応しています。また、歯科画像診断科の泉准教授によるドライマウスの患者さんの耳下腺機能再生術も、全く新しい治療法として効果を上げています。



ファイブロスキャン



大腸がん検診強化月間 結果報告

2020年11月2日～11月30日を大腸がん検診強化月間として便潜血検査2回法を実施しました。

便潜血検査は便に付着した目に見えないわずかな血液を調べます。結果として「男性 71名、女性 157名」合計 228名の検査を行いました。

年代別分布は下記のグラフをご参照下さい。

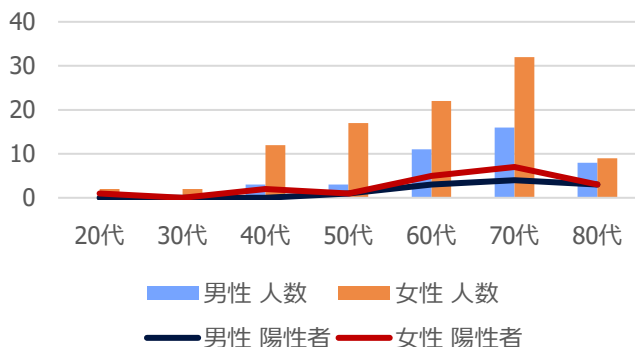
また、総数 228名の内、陽性者が 56名、陽性率は約 25%となりました。

2年前に実施した大腸がん検診では、男性 41名、女性 96名、合計 137名の内、陽性者 30名、陽性率は約 22%でした。

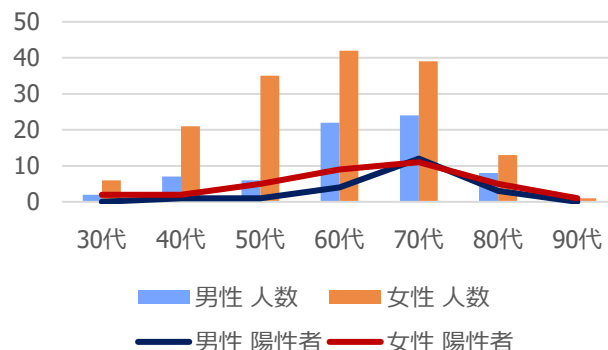


資料提供：栄研化学株式会社

2017年大腸がん検診年代別陽性率



2020年大腸がん検診年代別陽性率



内科外来診療について

2020年10月から土曜日の内科外来診療を開始しました。

○ 内科外来当番表

* 土曜診療は午前中の交代制です

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	青木一孝 橋本達夫 長谷川 巖	青木一孝 橋本達夫 古出智子	青木一孝 橋本達夫 長谷川 巖	橋本達夫	青木一孝 長谷川巖 古出智子	青木一孝 橋本達夫 赤見雅代
午後	青木一孝 橋本達夫	青木一孝 橋本達夫 古出智子	青木一孝 橋本達夫	橋本達夫	青木一孝 長谷川巖 古出智子	

地域連携室からお知らせ

医科外来、歯科外来共に診療は予約制となっております。事前にご予約の上、ご来院ください。

〒 238-8570

横須賀市小川町 1-23

神奈川歯科大学附属病院 地域連携室

電話 046-822-8877

FAX 046-822-8888

<http://www.kdu.ac.jp/hospital/>

